

■ 滋賀県立大学 人間文化セミナー ■

演 題

『大陸から移動してきた人たち』

講 師

九州大学名誉教授 中橋 孝博 氏

- 日 時 : 平成 27 年 2 月 3 日 (火)
午後 4 時 30 分～午後 6 時 00 分
- 場 所 : 滋賀県立大学 A7-101 中講義室
- 対 象 : 学生・教職員および一般(参加無料)

弥生時代は文化的な激変期であり、日本の文化、社会の大きな変換点であった。しかも、北部九州を中心に出土した弥生人骨と縄文人骨の間には明確な違いのあることが明らかになり、弥生時代が社会文化のみならず人の面でも大きな画期であったことがわかってきた。

今回のセミナーでは、縄文時代～弥生時代の移行期における、いわゆる渡来人問題について講義していただきます。最初期の弥生文化の担い手については、在来の縄文人と渡来人のどちらに比重を置くのか、北部九州の弥生時代中期の人骨が大陸集団に酷似していることから、何がわかるのかと言ったことを中心に解説していただきます。

講師紹介

1948 年、奈良県生まれ。九州大学理学研究科修了。1976 年より九州大学医学部解剖学教室助手、1987 年より九州大学医学部解剖学教室講師、1994 年より九州大学大学院比較社会文化研究科助教授を経て、1999 年より九州大学大学院比較社会文化研究科教授。2014 年退官。

国内遺跡のほか、シリア・パルミラ遺跡、中国、ベトナム、ロシア、アフリカ・マリ共和国、ペルー共和国など各地出土古人骨の人類学的研究に取り組んできた。主な著書として、『日本人の起源』（講談社メチエ 2005 年）、「弥生人の形質」『弥生文化の研究 1 弥生人とその環境』（雄山閣 1989 年）。

問い合わせ先 〒522-8533

彦根市八坂町 2500 番地

滋賀県立大学 人間文化学部

TEL 0749-28-8401 FAX 0749-28-8479

主催 滋賀県立大学人間文化学部